

石川県立歴史博物館



展示内容のリニューアルに伴い、館内全面内装改修、休憩スペースを増設する。第一棟（大正3年）、第二棟（大正2年）、第三棟（明治42年）の歴史的 외観（一部内観）は残しつつ、時代にあった利活用を図り、良好な景観形成と都心の賑わい創出に貢献する施設として保存再生した。



第一棟：漆喰飾りの保存



第二棟：木軸の保存



第三棟：木軸の保存





ほっとサロン：風景の再生



意匠保存 外観を特徴づける赤煉瓦の意匠はそのままに、損傷箇所の部分補修を行い、内部は漆喰飾りや当初材である歴史的価値の高い木軸部材は意匠保存を行った。

増築部分の計画 文化財である煉瓦壁とただれ桜に囲まれた空間でゆったりとした時を過ごせるよう、歴史が刻まれた煉瓦壁と現代のガラス建築による新旧の対話を図り、風景の再生を創造した。幾何学のガラス壁からは館の屋根までの眺望を確保した。

 : 多目的トイレの設置(第一棟、第二棟各1箇所、音声誘導、オストメイト対応、介助用ベット)、メインエントランスの変更に伴い、文化財を保存しながらスロープを敷設(将来撤去可)、第一棟、第三棟にはEVを設置し、館全体のバリアフリー化を図った。

 : 県産材の採用
(新設した壁下地(土台や柱)は能登ヒバを用い県産材の採用に努めた。)

■ : 構造補強の考え
第二棟一部、第三棟については構造材(木軸)まで文化財であることから、構造補強のため、バットレスを追加。

DATA	
④文化体育施設	
金沢市出羽町地内	
平成25年9月～平成26年12月	
第一棟	煉瓦+RC造2F 延床面積2,603.59㎡
第二棟	煉瓦+S造2F 延床面積2,621.51㎡
第三棟	煉瓦+W造2F 延床面積,249.79㎡
渡り廊下1	:S造1F 延床面積99.18㎡
渡り廊下2	:S造1F 延床面積100.25㎡
ほっとサロン	:S造1F 延床面積65.06㎡